

kWhモニタリング（対象期間:4/18～6/4）の結果

- 今後、平年並で需要が推移した場合、kWh余力は5月下旬に最小となる見込み。その値は**9,112百万kWh**であり、対象期間の平均日電力量の約5倍に相当。
- 現時点で燃料在庫の観点からはひっ迫の恐れはないことを確認。
- ただし、需要の増加や、原発・石炭発電等のベースロード電源の計画外停止によって状況が変化する可能性があり、今後も動向を注視していく。

[百万kWh]

